

授業概要

フィンテック (FinTech) とは、金融 (Finance) と技術 (Technology) を組み合わせた造語です。金融サービスと ICT (情報通信技術) を結びつけた色々な革新的なサービスを指します。皆さんが持っているスマートフォンなどを用いた送金もその一つの例です。この講義では、フィンテックの背景となっている代表的な技術である技術です、(1) スマートフォン、(2) 人工知能 (AI)・ビッグデータ分析、(3) ブロックチェーン・分散型台帳技術 (DLT) について概説し、その応用サービスについて学び、今後の新たな可能性について講義します。

授業計画

第1回	オリエンテーション、フィンテックの概要 (背景と用語について)
第2回	フィンテックによる金融サービスの変化
第3回	フィンテックによる新しい金融ベンチャー
第4回	フィンテックを支える技術 (スマートフォン)
第5回	フィンテックを支える技術 (人工知能 (AI))
第6回	フィンテックを支える技術 (ビッグデータ解析)
第7回	フィンテックを支える技術 (分散型台帳技術)
第8回	フィンテックを支える技術 (ブロックチェーン)
第9回	フィンテックの便利なサービス (お金を管理する)
第10回	フィンテックの便利なサービス (お金の送金・入金)
第11回	フィンテックの便利なサービス (お金を調達する)
第12回	フィンテックの便利なサービス (お金を運用する)
第13回	フィンテックの現状課題
第14回	フィンテックのグローバル化
第15回	進化するフィンテック、これまでのまとめ
第16回	期末テスト

到達目標

この科目の到達目標は以下の2つになります。

- ① フィンテックの用語の意味を理解し、フィンテックが新たに生み出した金融サービスの活用事例を例示できる。
- ② フィンテックの利便性と課題を説明できる

履修上の注意

フィンテックの用語をインターネットで調べておく。金融やITの興味を持ち、積極的に授業に参加する意欲を持っていること。

*シラバスはクラスの状況、講義の進行状況によって変更することがありますので、予めご理解下さい。

予習・復習

次回の予習課題を配布するので、予習をしてください。授業後は授業内容を復習すること。それぞれ1時間程度を想定している。

評価方法

- ① 予習&ミニ課題の提出(10%)、②課題レポート(30%)、③期末試験(60%)

テキスト

必要な資料を配布します。参考書を別途指示します。